



平成 26 年 10 月 15 日

各 位

会 社 名 株式会社協和コンサルタンツ
代表者名 代表取締役社長 持山 銀次郎
(JASDAQ ・ コード 9647)
問合せ先
役職・氏名 執行役員
統括本部経営管理室長 黒瀬 雅弘
電 話 03 - 3376 - 3171

(訂正・数値データ訂正)「平成 26 年 11 月期第 2 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」
の一部訂正について

当社は、平成26年10月 8 日付適時開示「当社元従業員による不正行為に関する調査結果および当該不正行為による当期業績への影響と当第 2 四半期決算の訂正に関するお知らせ」において、「平成 26 年 11 月期第 2 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の訂正について、平成 26 年 10 月 15 日に開示する予定である旨、お知らせ致しました。

本日、予定通りに作業が完了いたしましたので、訂正内容についてお知らせ致します。

なお、訂正箇所が多数に及ぶため、訂正後及び訂正前の全文をそれぞれ添付し、訂正箇所には__を付して表示しております。

以 上

(訂正後)



平成26年11月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年7月11日

上場会社名 株式会社 協和コンサルタンツ 上場取引所 東
コード番号 9647 URL <http://www.kyowa-c.co.jp/>
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)持山 銀次郎
問合せ先責任者 (役職名)執行役員統括本部経営管理室長 (氏名)黒瀬 雅弘 (TEL)03(3376)3171
四半期報告書提出予定日 平成26年7月11日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年11月期第2四半期の連結業績(平成25年12月1日～平成26年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年11月期第2四半期	2,908	△4.5	175	25.2	162	33.0	10	△79.9
25年11月期第2四半期	3,045	7.3	139	35.1	122	52.8	51	—

(注) 包括利益 26年11月期第2四半期 28百万円(△56.7%) 25年11月期第2四半期 65百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年11月期第2四半期	1.75	—
25年11月期第2四半期	8.72	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年11月期第2四半期	4,768	1,751	33.7
25年11月期	6,371	1,749	25.4

(参考) 自己資本 26年11月期第2四半期 1,608百万円 25年11月期 1,619百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年11月期	—	0.00	—	3.00	3.00
26年11月期	—	0.00	—	—	—
26年11月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年11月期の連結業績予想(平成25年12月1日～平成26年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,900	5.6	160	△40.9	130	△43.6	40	△47.8	6.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	26年11月期 2 Q	5,861,000	25年11月期	5,861,000
② 期末自己株式数	26年11月期 2 Q	9,706	25年11月期	9,062
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	26年11月期 2 Q	5,851,547	25年11月期 2 Q	5,851,938

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。ただし、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 追加情報	<u>3</u>
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税増税前の駆け込み需要に対する反動減が懸念されたものの、雇用環境の改善により消費が底堅く推移したことに加え、企業の設備投資が活性化することで、緩やかな景気回復基調となりました。

一方、建設コンサルタント業界は、震災復興事業やインフラ長寿命化計画など、公共事業の需要増が期待されておりますが、深刻な人手不足に見舞われております。

このような状況下、当社グループは将来の業績拡充に向けた需要増に対応する受注・生産体制の整備と、新規事業分野である再生可能エネルギー関連の事業化に取り組み、積極的に予算化を図りました。これらの投資案件につきましては、概ね順調に推移しておりますが、実施予定であった予算消化の一部にスライドが生じたため、営業利益、経常利益の双方で計画を上回りました。しかしながら、当第2四半期において「その他有価証券」に区分されている保有有価証券の減損処理を特別損失に計上したことに加え、当社従業員の不正行為による被害金額相当額等を現時点の回収可能性の観点から特別損失に計上したため、最終利益は計画を下回りました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、受注高2,832百万円（前年同期比6.8%増）、売上高2,908百万円（前年同期比4.5%減）、営業利益175百万円（前年同期比25.2%増）、経常利益162百万円（前年同期比33.0%増）、四半期純利益10百万円（前年同期比79.9%減）となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

(建設コンサルタント事業)

主力事業であります建設コンサルタント事業は、受注高1,875百万円（前年同期比2.7%増）、売上高2,189百万円（前年同期比4.0%減）、営業利益148百万円（前年同期比7.7%減）となりました。

(情報処理事業)

情報処理事業は、受注高954百万円（前年同期比15.8%増）、売上高716百万円（前年同期比6.2%減）、営業利益71百万円（前年同期比146.3%増）となりました。

(不動産賃貸・管理事業)

不動産賃貸・管理事業は、当社子会社が主に連結グループ内企業に対してサービスを提供している事業で、受注高1百万円（前年同期比8.0%減）、売上高1百万円（前年同期比8.0%減）、営業利益9百万円（前年同期比114.4%増）となりました。

(注) 上記セグメント別の売上高は、外部顧客に対する売上高のみを表示しております。内部売上高を含む詳細につきましては、9ページ【セグメント情報】をご参照下さい。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ1,602百万円減少し、4,768百万円となりました。これは主として現金及び預金の減少および受取手形・完成業務未収入金等の減少によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ1,605百万円減少し、3,016百万円となりました。これは主として短期借入金の返済による減少によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ2百万円増加し、1,751百万円となりました。これは主として子会社の利益獲得による少数株主持分の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において、平成26年6月30日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 追加情報

(不正取引による不適切な会計処理について)

当社及び当社の連結子会社において、不正行為の疑いが生じたことから、当社メンバーが調査を実施するとともに社外監査役を委員長とする「内部調査委員会」を設置し調査を進めてまいりました。

その結果、過去に行われた取引の一部に関して不正行為による不適切な会計処理が含まれておりました。

(訂正報告書の提出について)

当社及び当社の連結子会社の不適切な会計処理について、当社は金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき過去に提出いたしました四半期報告書に記載されている四半期連結財務諸表に含まれる不適切な会計処理を訂正し、四半期報告書の訂正報告書を提出することを決定しました。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,875,423	1,534,395
受取手形・完成業務未収入金等	2,063,229	898,077
未成業務支出金	828,010	781,334
その他	133,701	<u>132,383</u>
貸倒引当金	<u>△3,083</u>	<u>△732</u>
流動資産合計	4,897,281	<u>3,345,458</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	207,310	201,194
土地	537,025	537,025
その他(純額)	75,247	85,639
有形固定資産合計	819,584	823,859
無形固定資産		
投資その他の資産		
長期未収入金	—	<u>25,966</u>
その他	512,565	<u>458,769</u>
貸倒引当金	—	<u>△25,966</u>
投資その他の資産合計	512,565	458,769
固定資産合計	1,471,165	1,420,788
繰延資産		
社債発行費	2,884	2,092
繰延資産合計	2,884	2,092
資産合計	6,371,330	<u>4,768,338</u>
負債の部		
流動負債		
業務未払金	434,020	<u>264,362</u>
1年内償還予定の社債	72,000	72,000
短期借入金	2,600,000	1,200,000
1年内返済予定の長期借入金	185,680	117,250
未払法人税等	52,787	<u>62,086</u>
受注損失引当金	3,460	534
その他	550,982	<u>663,907</u>
流動負債合計	3,898,930	<u>2,380,141</u>
固定負債		
社債	76,000	40,000
長期借入金	122,910	80,000
退職給付引当金	332,593	318,752
役員退職慰労引当金	143,393	139,270

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年5月31日)
その他	48,412	58,325
固定負債合計	723,309	636,347
負債合計	4,622,239	3,016,489
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	250,000	250,000
利益剰余金	361,162	353,889
自己株式	△1,508	△1,628
株主資本合計	1,609,653	1,602,260
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,501	5,906
その他の包括利益累計額合計	9,501	5,906
少数株主持分	129,934	143,682
純資産合計	1,749,090	1,751,849
負債純資産合計	6,371,330	4,768,338

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年5月31日)
売上高	3,045,961	2,908,329
売上原価	2,359,984	2,189,463
売上総利益	685,977	718,866
販売費及び一般管理費	546,079	543,732
営業利益	139,898	175,134
営業外収益		
受取利息及び配当金	542	474
受取家賃	4,080	4,080
補助金収入	5,106	11,617
その他	2,193	2,105
営業外収益合計	11,922	18,278
営業外費用		
支払利息	28,666	29,990
その他	942	849
営業外費用合計	29,608	30,840
経常利益	122,211	162,573
特別損失		
固定資産除却損	4	197
投資有価証券評価損	—	33,834
貸倒引当金繰入額	—	25,966
特別損失合計	4	59,997
税金等調整前四半期純利益	122,207	102,575
法人税、住民税及び事業税	41,577	57,199
法人税等調整額	23,974	13,489
法人税等合計	65,552	70,689
少数株主損益調整前四半期純利益	56,654	31,885
少数株主利益	5,597	21,602
四半期純利益	51,056	10,283

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	56,654	31,885
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,715	△3,595
その他の包括利益合計	8,715	△3,595
四半期包括利益	65,370	28,290
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	59,772	6,687
少数株主に係る四半期包括利益	5,597	21,602

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	122,207	102,575
減価償却費	38,618	35,995
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△4,269	23,614
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	2,278	△4,123
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△12,936	△13,841
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	1,900	△2,925
受取利息及び受取配当金	△542	△474
支払利息	28,666	29,990
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	33,834
売上債権の増減額 (△は増加)	758,894	1,165,152
たな卸資産の増減額 (△は増加)	128,832	46,675
仕入債務の増減額 (△は減少)	△102,601	△169,657
その他	△164,600	113,685
小計	796,448	1,360,500
利息及び配当金の受取額	578	505
利息の支払額	△26,329	△28,243
法人税等の支払額	△38,043	△45,808
法人税等の還付額	7,149	—
その他	—	△25,966
営業活動によるキャッシュ・フロー	739,803	1,260,988
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△359	△2,478
無形固定資産の取得による支出	△1,485	△6,091
その他	70,922	△1,651
投資活動によるキャッシュ・フロー	69,078	△10,221
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,200,000	△1,400,000
長期借入れによる収入	100,000	—
長期借入金の返済による支出	△88,140	△111,340
自己株式の取得による支出	—	△120
配当金の支払額	△17,555	△17,555
少数株主への配当金の支払額	△7,855	△7,855
その他	△58,618	△56,053
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,272,168	△1,592,924
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△463,286	△342,157
現金及び現金同等物の期首残高	1,290,418	1,617,068
現金及び現金同等物の四半期末残高	827,132	1,274,911

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年12月1日至平成25年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	建設コンサル タント事業	情報処理事業	不動産賃貸・ 管理事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客へ の売上高	2,279,922	763,954	2,084	3,045,961	—	3,045,961
(2) セグメント 間の内部売上高	720	44,237	31,377	76,334	△76,334	—
計	2,280,642	808,191	33,461	3,122,296	△76,334	3,045,961
セグメント利益	161,193	29,200	4,305	194,700	△54,802	139,898

(注) 1 セグメント利益の調整額△54,802千円には、セグメント間取引消去4,083千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△58,886千円が含まれております。全社費用の主なものはグループの管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年12月1日至平成26年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	建設コンサル タント事業	情報処理事業	不動産賃貸・ 管理事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客へ の売上高	2,189,794	716,616	1,918	2,908,329	—	2,908,329
(2) セグメント 間の内部売上高	720	80,235	31,377	112,333	△112,333	—
計	2,190,514	796,852	33,296	3,020,663	△112,333	2,908,329
セグメント利益	<u>148,767</u>	71,924	9,231	<u>229,924</u>	△54,789	<u>175,134</u>

(注) 1 セグメント利益の調整額△54,789千円には、セグメント間取引消去1,926千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△56,715千円が含まれております。全社費用の主なものはグループの管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。



(訂正前)

平成26年11月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年7月11日

上場会社名 株式会社 協和コンサルタンツ 上場取引所 東
 コード番号 9647 URL http://www.kyowa-c.co.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)持山 銀次郎
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員統括本部経営管理室長 (氏名)黒瀬 雅弘 (TEL)03(3376)3171
 四半期報告書提出予定日 平成26年7月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年11月期第2四半期の連結業績(平成25年12月1日～平成26年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年11月期第2四半期	2,908	△4.5	174	24.9	162	32.7	36	△29.5
25年11月期第2四半期	3,045	7.3	139	35.1	122	52.8	51	—

(注) 包括利益 26年11月期第2四半期 54百万円(△17.4%) 25年11月期第2四半期 65百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年11月期第2四半期	6.15	—
25年11月期第2四半期	8.72	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年11月期第2四半期	4,768	1,777	34.3
25年11月期	6,371	1,749	25.4

(参考) 自己資本 26年11月期第2四半期 1,633百万円 25年11月期 1,619百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年11月期	—	0.00	—	3.00	3.00
26年11月期	—	0.00	—	—	—
26年11月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年11月期の連結業績予想(平成25年12月1日～平成26年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,900	5.6	160	△40.9	130	△43.6	40	△47.8	6.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	26年11月期2Q	5,861,000	25年11月期	5,861,000
② 期末自己株式数	26年11月期2Q	9,706	25年11月期	9,062
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	26年11月期2Q	5,851,547	25年11月期2Q	5,851,938

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。ただし、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税増税前の駆け込み需要に対する反動減が懸念されたものの、雇用環境の改善により消費が底堅く推移したことに加え、企業の設備投資が活性化することで、緩やかな景気回復基調となりました。

一方、建設コンサルタント業界は、震災復興事業やインフラ長寿命化計画など、公共事業の需要増が期待されておりますが、深刻な人手不足に見舞われております。

このような状況下、当社グループは将来の業績拡充に向けた需要増に対応する受注・生産体制の整備と、新規事業分野である再生可能エネルギー関連の事業化に取り組み、積極的に予算化を図りました。これらの投資案件につきましては、概ね順調に推移しておりますが、実施予定であった予算消化の一部にスライドが生じたため、営業利益、経常利益の双方で計画を上回りました。このため、当第2四半期において「その他有価証券」に区分されている保有有価証券の減損処理を特別損失に計上いたしましたが、最終利益においても計画を上回りました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、受注高2,832百万円（前年同期比6.8%増）、売上高2,908百万円（前年同期比4.5%減）、営業利益174百万円（前年同期比24.9%増）、経常利益162百万円（前年同期比32.7%増）、四半期純利益36百万円（前年同期比29.5%減）となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

（建設コンサルタント事業）

主力事業であります建設コンサルタント事業は、受注高1,875百万円（前年同期比2.7%増）、売上高2,189百万円（前年同期比4.0%減）、営業利益148百万円（前年同期比8.0%減）となりました。

（情報処理事業）

情報処理事業は、受注高954百万円（前年同期比15.8%増）、売上高716百万円（前年同期比6.2%減）、営業利益71百万円（前年同期比146.3%増）となりました。

（不動産賃貸・管理事業）

不動産賃貸・管理事業は、当社子会社が主に連結グループ内企業に対してサービスを提供している事業で、受注高1百万円（前年同期比8.0%減）、売上高1百万円（前年同期比8.0%減）、営業利益9百万円（前年同期比114.4%増）となりました。

（注）上記セグメント別の売上高は、外部顧客に対する売上高のみを表示しております。内部売上高を含む詳細につきましては、9ページ【セグメント情報】をご参照下さい。

(2) 財政状態に関する説明

（総資産）

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ1,602百万円減少し、4,768百万円となりました。これは主として現金及び預金の減少および受取手形・完成業務未収入金等の減少によるものであります。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ1,631百万円減少し、2,990百万円となりました。これは主として短期借入金の返済による減少によるものであります。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ28百万円増加し、1,777百万円となりました。これは主として利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において、平成26年6月30日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,875,423	1,534,395
受取手形・完成業務未収入金等	2,063,229	898,077
未成業務支出金	828,010	781,334
その他	133,701	132,503
貸倒引当金	△3,083	△732
流動資産合計	4,897,281	3,345,578
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	207,310	201,194
土地	537,025	537,025
その他(純額)	75,247	85,639
有形固定資産合計	819,584	823,859
無形固定資産	139,014	138,159
投資その他の資産	512,565	458,769
固定資産合計	1,471,165	1,420,788
繰延資産		
社債発行費	2,884	2,092
繰延資産合計	2,884	2,092
資産合計	6,371,330	4,768,458
負債の部		
流動負債		
業務未払金	434,020	240,581
1年内償還予定の社債	72,000	72,000
短期借入金	2,600,000	1,200,000
1年内返済予定の長期借入金	185,680	117,250
未払法人税等	52,787	62,054
受注損失引当金	3,460	534
その他	550,982	662,122
流動負債合計	3,898,930	2,354,543
固定負債		
社債	76,000	40,000
長期借入金	122,910	80,000
退職給付引当金	332,593	318,752
役員退職慰労引当金	143,393	139,270
その他	48,412	58,325
固定負債合計	723,309	636,347
負債合計	4,622,239	2,990,890

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	250,000	250,000
利益剰余金	361,162	<u>379,607</u>
自己株式	△1,508	△1,628
株主資本合計	1,609,653	<u>1,627,979</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,501	5,906
その他の包括利益累計額合計	9,501	5,906
少数株主持分	129,934	143,682
純資産合計	1,749,090	<u>1,777,567</u>
負債純資産合計	6,371,330	<u>4,768,458</u>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年5月31日)
売上高	3,045,961	2,908,329
売上原価	2,359,984	2,189,463
売上総利益	685,977	718,866
販売費及び一般管理費	546,079	544,132
営業利益	139,898	174,733
営業外収益		
受取利息及び配当金	542	474
受取家賃	4,080	4,080
補助金収入	5,106	11,617
その他	2,193	2,105
営業外収益合計	11,922	18,278
営業外費用		
支払利息	28,666	29,990
その他	942	849
営業外費用合計	29,608	30,840
経常利益	122,211	162,172
特別損失		
固定資産除却損	4	197
投資有価証券評価損	—	33,834
特別損失合計	4	34,031
税金等調整前四半期純利益	122,207	128,140
法人税、住民税及び事業税	41,577	57,166
法人税等調整額	23,974	13,369
法人税等合計	65,552	70,536
少数株主損益調整前四半期純利益	56,654	57,603
少数株主利益	5,597	21,602
四半期純利益	51,056	36,001

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	56,654	57,603
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,715	△3,595
その他の包括利益合計	8,715	△3,595
四半期包括利益	65,370	54,008
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	59,772	32,406
少数株主に係る四半期包括利益	5,597	21,602

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	122,207	128,140
減価償却費	38,618	35,995
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△4,269	△2,351
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	2,278	△4,123
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△12,936	△13,841
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	1,900	△2,925
受取利息及び受取配当金	△542	△474
支払利息	28,666	29,990
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	33,834
売上債権の増減額 (△は増加)	758,894	1,165,152
たな卸資産の増減額 (△は増加)	128,832	46,675
仕入債務の増減額 (△は減少)	△102,601	△193,438
その他	△164,600	111,900
小計	796,448	1,334,534
利息及び配当金の受取額	578	505
利息の支払額	△26,329	△28,243
法人税等の支払額	△38,043	△45,808
法人税等の還付額	7,149	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	739,803	1,260,988
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△359	△2,478
無形固定資産の取得による支出	△1,485	△6,091
その他	70,922	△1,651
投資活動によるキャッシュ・フロー	69,078	△10,221
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,200,000	△1,400,000
長期借入れによる収入	100,000	—
長期借入金の返済による支出	△88,140	△111,340
自己株式の取得による支出	—	△120
配当金の支払額	△17,555	△17,555
少数株主への配当金の支払額	△7,855	△7,855
その他	△58,618	△56,053
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,272,168	△1,592,924
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△463,286	△342,157
現金及び現金同等物の期首残高	1,290,418	1,617,068
現金及び現金同等物の四半期末残高	827,132	1,274,911

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年12月1日至平成25年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	建設コンサル タント事業	情報処理事業	不動産賃貸・ 管理事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客へ の売上高	2,279,922	763,954	2,084	3,045,961	—	3,045,961
(2) セグメント 間の内部売上高	720	44,237	31,377	76,334	△76,334	—
計	2,280,642	808,191	33,461	3,122,296	△76,334	3,045,961
セグメント利益	161,193	29,200	4,305	194,700	△54,802	139,898

(注) 1 セグメント利益の調整額△54,802千円には、セグメント間取引消去4,083千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△58,886千円が含まれております。全社費用の主なものはグループの管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年12月1日至平成26年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	建設コンサル タント事業	情報処理事業	不動産賃貸・ 管理事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客へ の売上高	2,189,794	716,616	1,918	2,908,329	—	2,908,329
(2) セグメント 間の内部売上高	720	80,235	31,377	112,333	△112,333	—
計	2,190,514	796,852	33,296	3,020,663	△112,333	2,908,329
セグメント利益	<u>148,366</u>	71,924	9,231	<u>229,523</u>	△54,789	<u>174,733</u>

(注) 1 セグメント利益の調整額△54,789千円には、セグメント間取引消去1,926千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△56,715千円が含まれております。全社費用の主なものはグループの管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。